

二〇二四年度

聖ヨゼフ学園中学校入学試験問題

第三回〔国語〕

〔注意〕 解答はすべて解答用紙に書きなさい。

字数制限のあるものについては、句読点「、」「。」、「（や」「（ ）」などの記号も一字に数えます。

* 開始のチャイムが鳴ったら、解答用紙に氏名を記入してください。

一

次の①～⑤の——線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① クラスで意見を出し合いながら、学級目標をケントウする。
- ② 地球上で初めて生命がタンジヨウしたのは、海の中だ。
- ③ 彼は莹々とカンシユウの前で演説した。
- ④ AIが創作する文章に、チヨサクケンは与えられるのだろうか。
- ⑤ 希望の企業にツトめるために、資格の勉強を始めた。

二

次の①～⑤の——線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① このカバンは軽くて丈夫なので重宝している。
- ② 親の遺志をつぎ、画家を目指して上京する。
- ③ お手元の資料をご覧ください。
- ④ 入学式の座席を確認しておいてください。
- ⑤ 積み重ねられた歴史を学ぶことで、先人たちの思いを背負う。

三

次の①～⑤で説明されている意味を持つ漢字を、後のア～オからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 1. 鋭い。^{すどど} 2. 役に立つ。 3. 頭が良い。 4. もうけ。 5. 効き目がある。

- ② 1. いくつかに分けたときの、一つ一つの集まり。

- ③ 1. もののつぎめ。 2. ものの一区切り。 3. 音楽の調子。 4. 気候の変わり目。 5. 心をかえないこと。

- 6. ほどよくする。 7. 祝いの日。

- ④ 1. 見分けて区別する。 2. けじめをつけて処理する。 3. 上手に話す。 4. ものの言い方。また、方言。

- 5. はなびら。

- ⑤ 1. かきつけ。手紙。書物。 2. 手軽。はぶく。手をぬく。

ア 簡 イ 利 ウ 班 エ 弁 オ 節

四

次の□にひらがなをいれて、意味の通る文章にしなさい。④・⑤に関しては、A・Bの文が同じ意味の文章になるように、ひらがなを入れなさい。(□ひとつに一字が入ります)。

- ① 国境□長いトンネルを抜けると雪国であつた。夜の底が白くなつた。信号所に汽車が止まつた。

- ② 観たい映画がたくさんある。□□□□、時間がないのですべてを観ることはできない。

- ③ □□□□失恋してしまつても、友達がそばにいてくれたら大丈夫だ。

- ④ A 彼女なしでは生きられない。

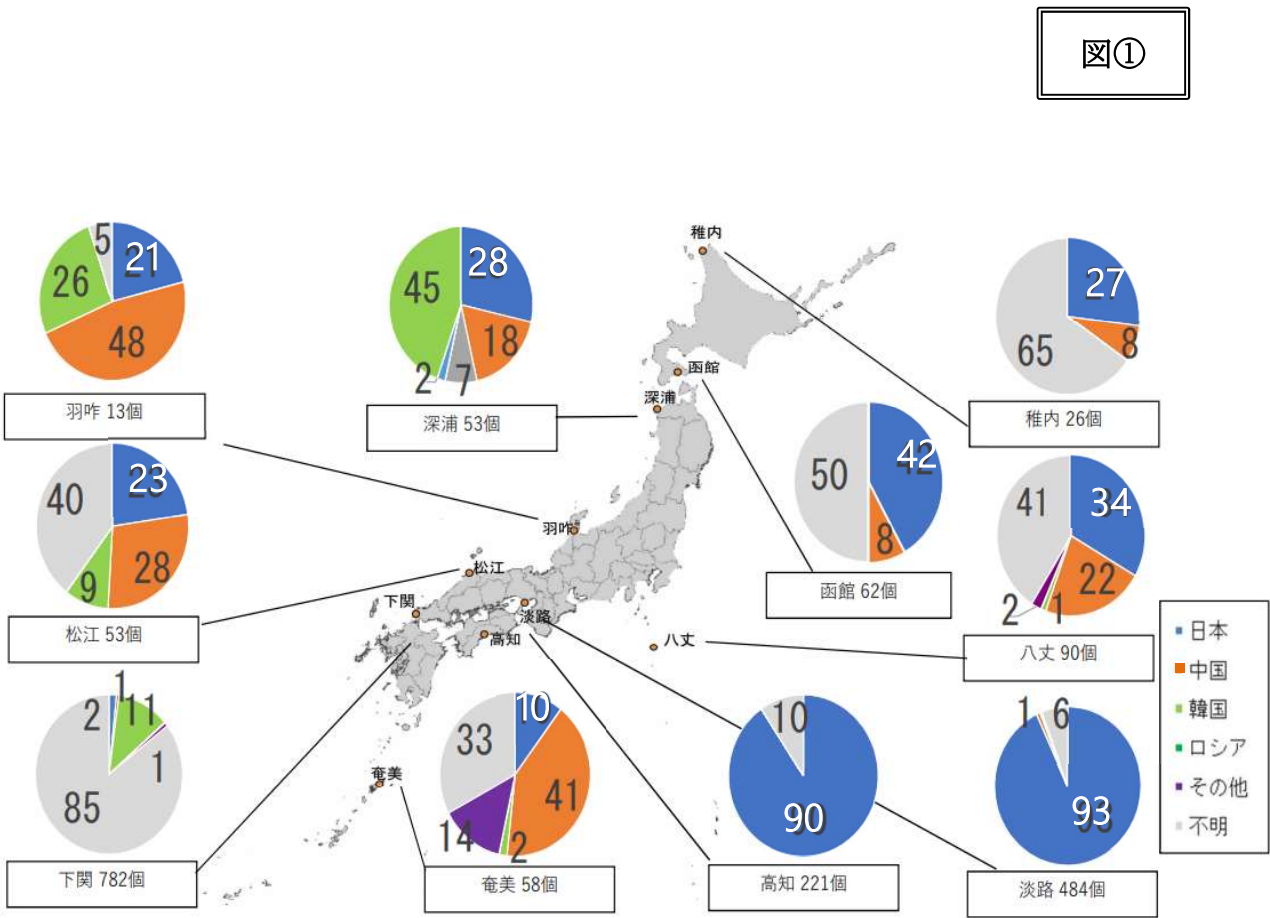
- B 彼女が□□□□生きていられる。

- ⑤ A 先生は、日々努力して磨き上げられた彼女の優雅なダンスにおどろいた。

- B 日々努力して磨き上げられた彼女の優雅なダンスは、先生を□□□□□□。

五 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。
額賀滞『ラベンダーとソプラノ』（二〇二二年 岩崎書店）より出題

図①は、日本全国十カ所の海岸に漂着して回収されたペットボトルの個数と、そのパッケージに記されている言語について調べたものです。図①をよく読み、後の問いについて答えなさい。



環境省「令和元年度海洋ごみ調査の結果」をもとに作成
(円グラフ内の数値の単位は%)

問一 次のア～オを、ペットボトルが回収された個数が多い順に並べなさい。

ア 函館はこだて イ 淡路あわじ ウ 羽咋はくい エ 奄美あまみ オ 高知

問二 次のア～オから、外国語表記ペットボトルが回収された割合が半数以上の場所を二か所選びなさい。

ア 函館はこだて イ 淡路あわじ ウ 羽咋はくい エ 奄美あまみ オ 高知

問題は、次のページに続きます。

図②

東京のポイ捨てが、 太平洋の 海ごみになっている。



街で発生したごみが、雨や風に流されて河川や水路等に入り込み、
やがて海まで流れ出て「海ごみ」となっています。

海ごみ対策はじめませんか  TOKYO

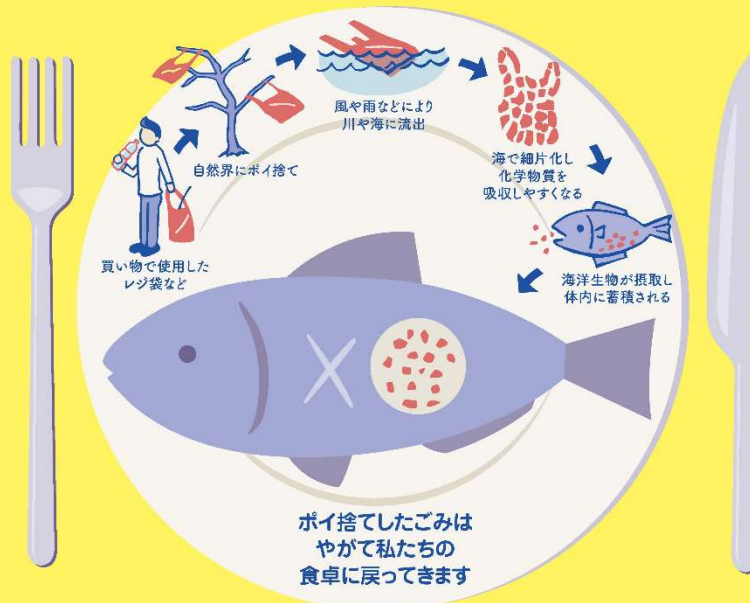


図③

マイクロプラスチックってなに？

大きさが5mm以下のプラスチックのことを指し、
マイクロプラスチックは水の中の化学物質を吸着しやすいため、
生態系への影響が懸念されると言われています。

出典：「SDGYレポート」No.01 2019年



私たちに今できること
参加しよう!
街・河川・海岸の清掃活動

街の美化、環境保全に向けて積極的に参加しよう



横浜市資源循環局
令和3年6月発行

次の図②～⑤は、それぞれ東京都、横浜市、長野県、大阪府の海洋ごみについてのポスターです。

みんなで始めよう!

信州プラスチックスマート運動

～3つの意識した行動～

海洋に流出したプラスチックごみが、大きな問題になっています。
長野県は「海なし県」ですが、日本海、太平洋へと流れる河川を有する上流県の責務として、
海洋プラスチック問題を考え取り組むため、
県では「3つの意識した行動」を呼び掛けています。
今、一人一人が行動し、この地球規模の問題に向き合きましょう。

意識して 「選択」

何気なく受け取っている
ストローやレジ袋
不要なときは断ってきましょう

少しずつ 「転換」

できるだけマイバックやマイボトルを
使うよう心がけましょう
詰め替え製品を優先するようにして
いきましょう

分別して 「回収」

役目を終えたプラスチック製品は
自治体のルールに従い
分けて回収へ

不用意に捨てられたごみが まちから海へ...

漂着ごみ

マイクロプラスチック

紫外線や波などで碎ける

問三 図①～⑤から、海のごみについてどんなことが課題だと考えられますか。適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 海を汚染おせんしているごみの中でも、最も多く捨てすられているのは分別ぶんべつされていないペットボトルである。
- イ 陸上で捨てられたごみが、風や雨によって全国の海に流れ、魚や海洋生物の体内にまで入っている。
- ウ 日本の海を汚よごしているごみで、外国から流れ着いたものはほとんどなく、ペットボトルごみの個数も少ない。
- エ 海に住む生き物たちの体の中に、人間の捨てたごみが混ざまっていて、輸出入ができなくなっている。

問四 図①～⑤を参考にして、海のごみ問題の解決に向けてあなた自身ができると思うことを二つ挙げるとともに、それぞれについて、それがなぜ解決につながるのか、ということについても説明しなさい。